

<b>授業科目</b>  精神看護援助論Ⅱ	<b>区分・教育内容</b>  専門分野Ⅱ 精神看護学		
<b>授業担当者</b>  渡部 暢子 (専任教員)	<b>開講時期</b>  後期	<b>単位</b>  1 単位	<b>時間数</b>  16 時間
<b>授業の目的</b> 精神看護実践の基本となる、看護計画の立案、記録の書き方、看護援助の実際について学ぶ。			
<b>授業の目標</b>			
1. 精神看護学における看護過程の特徴がわかる。 2. プロセスレコードの記載の仕方がわかる。 3. 精神看護におけるレクリエーションの特徴がわかる。			
<b>授業概要</b>			
これまで学んできた精神看護学を基盤に、看護実践について学ぶ場としたい。そこで、精神看護学実習で活用することを前提に、看護計画立案、プロセスレコード記載の演習を行う。また、治療的レクリエーションの意義を学び、そこで果たすべき看護の役割を学ぶ。			
<b>授業計画(進め方)</b>			
1～2 回目 プロセスレコード ・プロセスレコードの意義 ・演習 (学生同士の会話からプロセスレコードを記載する) 3～5 回目 看護過程 ・精神看護学における看護過程の特徴 ・演習 (ペーパーシミュレーションによる関連図の記載と看護計画立案) 6～7 回目 レクリエーション ・レクリエーションの意義 ・演習 (企画書の作成) 8 回目 レクリエーションのグループ発表・評価			
<b>テキスト</b>			
系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護の展開 医学書院			
<b>参考書・指定図書</b>			
<b>評価の方法</b>			
演習の提出物、授業態度・出席状況などを総合して評価する。 (教員による評価 88 点・学生によるグループ評価 12 点)			